

# 理想の働き方考えよう

## 職場での取り組み確認

神戸でシンポ

理想の上司や働き方「ウム」が19日、神戸市開かれた。3児の父で、  
について考える「多様な働き方応援シンポジウム」が19日、神戸市中央区東川崎町1の神戸東レ経営研究所（東京都）上席シニアコンサルタントの塚越孝さん（41）による講演や、グループワークがあり、参加者約110人が未来の働き方について意見を出し合った。



理想の働き方について意見を交わす参加者ら＝神戸市中央区東川崎町1

兵庫県立男女共同参画センターの主催。塚越さんは「人材多様化時代を勝ち抜くイクボスマネジメント戦略」と題し、部下のワークライフバランスを尊重

しながら業績を伸ばす上司「イクボス」に関して講演した。  
イクボスが注目される背景として「超高齢社会や共働き世帯の増加により、仕事以外に取り組む必要のある人が増えた」と指摘。その上で、部下に信頼され、プライベートな情報を共有することや、時間ではなく仕事量の管理をすることが重要と紹介した。

一方で「部下も、上司の強みや好みを意識したコミュニケーション」をとり、  
講演後、参加者がら6人ずつに分かれたグループワークでは、20年後の理想の働き方について活発に意見を交換。「兼職ができる」「定年の自由化」「男性の育休取得率100%」などの声が上がりが、多く共感を得ていた。理想の実現に向けての「初めの一歩」として、職場でできることをしていくことを確認し合った。（目原加奈）